



優秀演題論文集

当番世話人 飯島 尋子 兵庫医科大学超音波センター・内科肝胆膵科

開催日時：2016年6月11日(土)

会場：梅田スカイビル（大阪府大阪市）

「The Liver Cancer Journal」では、「日本肝がん分子標的治療研究会」の準機関誌といたしまして、年2回開催されます同研究会の優秀演題論文集を掲載して参ります。掲載演題につきましては、Session座長の先生方よりご推薦いただきました。

PROGRAM

Session
1

NASH肝発癌モデルに対するソラフェニブと
angiotensin-II受容体阻害薬(ARB)の併用効果

才川 宗一郎

奈良県立医科大学内科学第三講座(消化器・内分泌代謝内科)

Session
7

進行肝細胞癌に対するソラフェニブ治療の
予後予測因子の検討

川崎 剛

熊本大学消化器内科学

Session
2

肝細胞癌においてK19陽性癌幹細胞はTGFβ
受容体1阻害薬の治療標的となりうる

河合 隆之

京都大学肝胆膵・移植外科

Session
8

進行肝細胞癌に対するソラフェニブと肝動注
化学療法の有用性

永井 英成

東邦大学医療センター大森病院消化器内科

Session
3

ソラフェニブ投与における副作用対策として
のテレフォンプォローアップの有用性

小岡 洋平

公立八女総合病院消化器・肝臓内科

Session
9

動注化学療法からソラフェニブへのConversion

佐伯 一成

山口大学大学院医学系研究科消化器内科

Session
4

当科におけるソラフェニブ治療の現状
長期服用例について

本田 琢也

長崎大学病院がん診療センター

Session
10

総投与量からみたソラフェニブ治療症例の特徴

西島 規浩

大阪赤十字病院消化器内科

Session
5

ソラフェニブ治療におけるソナゾイド造影超音波
の意義

—早期治療効果と有害事象予測を中心に

杉本 勝俊

東京医科大学消化器内科

Session
11

肝外転移を起点として大静脈侵襲をきたした
肝細胞癌症例に関する検討

浅岡 良成

東京大学医学部附属病院消化器内科

Session
6

ソラフェニブ導入例における長期生存例と
早期治療効果予測因子としての造影超音波
検査の有用性の検討

西村 貴士

兵庫医科大学超音波センター

Session
12

術後早期のHCC多発再発に対しsorafenib
とTACEの組み合わせ治療が奏功し、その後
SVRを達成し得たC型慢性肝炎の1例

谷山 央樹

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科消化器疾患・生活習慣病学